

2017/2/25 (Sat.) 第103号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
－ 発行所 －
日本医師連盟
東京都文京区本駒込5-73-3
駒込SKビル1F
〒113-0021
TEL: 03-3947-7815
FAX: 03-3947-2662
E-mail: info01@nichiren.jp

<http://www.nichiiren.jp/>

定価 1年400円 (但し日医連負担金に含む)

日医連 執行委員会開催

平成27年度収支決算・ 平成29年度負担金基準額を承認

適切な社会保障の財源確保に向けて

執行委員会は、今村聡日本医師連盟副委員長の司会でスタート。はじめに横倉義武委員長が次のように挨拶した。

「非常に寒いなか、日医連執行委員会にご出席いただき感謝申し上げます。昨年の参議院議員選挙で自見はなご参与が二十一万五千六百六十二票を獲得し初当選できたこと、選挙区でも日医連推薦の候補者の多くが当選できたことは全国の先生方のご支援によるものと感謝する。

わが国は税収が伸び悩むなか、歳出に占める医療費の割合は年々増加傾向にある。また、診療報酬の改定率は予算編成過程で決まり、税制についても政治で決着する。医療と政治は不可分な関係にあることから、望ましい医療政策を実現するためには積極的に医政活動を展開し

ていくことは最も重要である。今年は、年末の予算編成において平成三十年度の診療報酬と介護報酬の改定率が決定するダブル改定を控えている。その財源確保は厳しい状況であると認識しているが、我々が望む国民のための医療・介護が行えるような環境をつくっていかないと考えている。そのためには中央と地方で医政活動をさらに強力に展開していくことが非常に重要となるので、ご協力をお願い申し上げます。

昨年末に、平成二十九年度予算案を決める際、厚生労働省は社会保障費の自然増を六千四百億円と見積もっていたが、財務省はそれを五千億円程度に収めるべしということになり、さまざまな工夫、制度改正を行い、五千億円に収めることができた。千四百億円を埋めるために、



日医連執行委員会で挨拶する横倉義武委員長

日本医師連盟は、1月17日、日医会館で執行委員会を開催した。「平成27年度収支決算」「平成29年度負担金基準額」について審議を行い、全会一致で承認および決定した。

七十歳以上の高額療養費の見直し、入院時の光熱費の患者負担、高額薬剤の市場拡大再算定等の制度改正を行うことになった。さらに、かかりつけ医以外を受診した際の定額負担の導入についても検討されたが、拙速な導入はするべきでないという主張し、なんとか止めることができた。財政再建の立場から保険給付範囲

囲の縮小をはかろうとするさまざまな動きもあるが、阻止しなければならない。一方、税制改正では、消費税の問題については与党税制改正大綱における書きぶりが、医療に係る消費税のあり方について、『一〇％に引き上げられるまでに結論を得る』、となり税率引き上げ時までにやれることはやるという意図が明確に書き込まれたものと理解している。また、持ち分ありから持ち分なしの医療法人の承継問題は、非課税措置が盛り込まれ一歩前進したと思っている。

本年はどこかで衆議院総選挙があるのではないかと言われている。いつあっても大丈夫である。二面に続く



日医連執行委員会（1月17日）

平成27年度日本医師連盟収支決算報告書（別表）

期間収支計算書（平成27年4月1日～平成28年3月31日）（単位：円）

収入	
負担金	1,002,004,000
特別会費	0
寄付金	1,749,084
その他の収入	403,502
繰越金	973,840,691
合計	1,977,997,277

支出	
経常経費（A） （人件費、備品消耗品費等）	100,507,300
政治活動費（B）	962,233,964
・組織活動費	161,806,279
・選挙関係費	1,000,000
・機関誌発行その他事業費	34,342,493
・調査研究費	2,290,202
・寄付交付金	762,794,990
支出計（A+B）	1,062,741,264
剰余金	915,256,013
合計（支出計+剰余金）	1,977,997,277
負担金未収入金	0

平成二十七年収支決算について

任者が収支内容の説明と報告を行った。その際平成二十七年



これを受け小山田雅會計監督者より「本日、平成二十七年収支決算について、會計監督者三名で會計監査を行った結果、適正妥当であり、帳簿記載も的確に処理されている」と報告があった。内容を確認する質疑応答が行われたのち、全会一致で平成二十七年収支決算を承認した。

負担金基準額は昨年度と同額に決定

審議の結果、平成二十九年度負担金基準額は原案どおり全会一致で承認され、決定した。

羽生田俊参議院議員 挨拶

よりの参議院厚生労働委員長を拝命しております。委員長の立場上、私は委員会において意見を述べる事ができず、与野党わけて隔てなく公平な委員会運営を行つことにもっぱら努めております。私が意見を言えない分、自見はなご議員にしっかりと発言



していたい
ている状況で
ございます。
今後どうぞ
ご支援を賜り
ますようお願い
いたします。
す。

自見はなご参議院議員 挨拶

に二人厚生労働委員会に所属することとは通常ないのですが、現在、羽生田先生が委員長、そして私も委員として所属させていただいております。これは、先生方のおかげで医療系の自民党比例議員のなかでトップの票で当選できたことが大きかったよ



で、そして横倉委員長にも入っていただきトライアングルの体制で進んで参ります。

今年は自分の足場を固める年にしたいと存じます。組織代表として国会に送っていただいた意義を十分ににかみしめて頑張ってくださいのでもうぞご指導いただきますようお願いいたします。

日医連 常任執行委員会



合同新年会

日本医師会・日本医師連盟

議を行い、全会一致で承認した。承認された議案はそのうち開催された日医連執行委員会で審議された。

日本医師会・日本医師連盟は、同新年会が執行委員会終了後、開催された。新年会には自民党の高村正彦副総裁、細田博之の民党総務会長、望月義夫自民党幹事長代理ら幹部をはじめ、医師の国会議員、衆参の厚生労働関係の議員の多くが来賓として出席し祝辞をのべた。

出席し祝辞をのべた。

永田町トピックス

今、永田町で行われている論争について、
参議院議員の自見はなこ先生から、ご寄稿をいただきました

「たばこのない
オリンピック・パラリンピック
健康増進法改正に向けてご協力を」

参議院議員 自見はなこ

参議院議員となり七カ月が過ぎましたが、毎日が新鮮で研修医のような日々を送っております。新しい学び舎に入学し、自民党の先輩方に親身に国会運営や党内の政策決定現場である部会とはなんたるか実地で教えていただいております。羽生田俊先生が厚生労働委員長になられた厚生労働委員会もそろそろ本格的な法案審査に入ろうとするなか、我々に直結する法案が十本前後審議される予定ですので緊張感をもって臨もうと思っております。

さて、最近の国会、永田町の状況ですが、たばこの受動喫煙防止法である「健康増進法改正案」が大きな争点になっています。二〇二〇年の東京オリンピックでは、「たばこのないオリンピック」は国際的な約束でもあります。新聞報道でもご承知のとおり、飲食店での営業などに影響がでることも予想されることから反対意見が相次いでいる状態です。私も部会で発言しましたが、「健康講演会じゃないんだよ」などのヤジ多数でした。諸団体が精力的に反対のロビー活動を国会議員に行っています。成立に持っていくには三月上旬までに一定の理解を

得る必要がございますが、このままでは妥協案となり飲食店で働く従業員や客の健康を守ることができません。

たばこは専売制度に始まり、たばこ農家の転作の問題やたばこ税が地方財源となっていることなど複雑な経緯もございますが、いずれにしても受動喫煙防止は徹底して行う必要がございます。北京オリンピックでもリオデジャネイロオリンピックでもたばこのないオリンピックでもたばこのないオリンピックを実現しております。

健康被害がはかり知れない、たばこについての正しい知識について、私は永田町で国会議員の先生方にご理解いただけるようお願いいたします。医師連盟



自民党厚生労働部会で発言！

の先生方にはご地元の国会議員の先生方にたばこの害、受動喫煙の害を改めてご理解いただけるよう、お話をしてくださいませ。何卒応援のほどよろしくお願いいたします。

＊次号では、羽生田俊参議院議員よりご寄稿をいただく予定です。